

## 公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和7年3月31日時点)

| 団体名          | 業種名   | 事業名   | 施設名 |
|--------------|-------|-------|-----|
| 函館湾流域下水道事務組合 | 下水道事業 | 流域下水道 |     |

### 実施状況

| 抜本的な改革の取組 |          |              |      |         |         |              | 現行の経営体制を継続 |
|-----------|----------|--------------|------|---------|---------|--------------|------------|
| 事業廃止      | 民営化・民間譲渡 | 地方独立行政法人への移行 | 広域化等 | 民間活用    |         |              |            |
|           |          |              |      | 指定管理者制度 | 包括的民間委託 | PPP/PFI方式の活用 |            |
|           |          |              |      |         |         |              | ●          |

### 現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

抜本的な改革に取り組まず、現行の経営体制・手法を継続する理由及び現在の経営状況・経営戦略等における中長期的な将来見通しを踏まえた、今後の経営改革の方向性

現行の経営体制・手法で、健全な事業運営が実施できている。  
また、流域下水道施設の維持管理を共同して処理するために構成市町が設立した一部事務組合であるため、下水道使用料等の料金収入や地方債の借入はなく、構成市町からの負担金のみで運営されており、設立以来、決算の資金不足比率は0%となっており、今後についても継続できるため。